

## 本日の主な論点

### 論点 1 教育の未来

#### (未来に求められる人材像)

AI やロボット技術等により自動化・機械化が進んだ社会では、多くのホワイトカラーが職を奪われ、一部のクリエイティブクラスとの所得分配格差が拡大するとも言われる。副業・兼業など働き方の選択肢が多様化する一方で、個人の高い能力がより求められるようになる。産業構造や暮らし・働き方が大きく変革するなか、これからの時代に育成すべき人材とは如何なるものか。

#### (柔軟で多様な教育システム)

日本は他の先進国に比べて希望や自己肯定感を持つ若者の割合が少ない。受験勉強に偏重した、将来へのビジョンを持ちにくい画一的な教育も要因の一つではないか。また、不登校や引きこもりなども、子どもの生きづらさを象徴する課題である。人は自分で人生を切り拓く自己決定感を持つことで幸福感を高めるとも言われ、個人の個性や能力に合わせて多様な選択肢を与える新しい教育システムの構築が必要ではないか。

さらに、コロナ禍ではオンライン教育の可能性と課題の両面が明らかになった。ICTの活用、教師の役割、学校外教育を含めて、教育は大きな変革を迫られている。幼児教育から高等教育まで各段階における、教育の未来とはどのような姿をしているのか。

#### (地域が担う教育の姿)

地域における教育資源の充実は、居住地を選定するうえでの重要な要素ともなっている。学校や塾でのICTの活用により、学習の効率化とともに地域間の教育格差是正が期待されているが、より地域それぞれが価値を発揮するような新しい教育システムが考えられないか(現在の体験教育事業ではなく、より日常の学習と連動した教育システムとして)。

### 論点 2 人生の未来

#### (人生100年時代のライフコース)

30年後の県民はどんなライフコースを歩むのか。人生100年時代の人生について、「教育・仕事・引退(老後)」の3ステージから、自分探し、自由で多様な働き方等の期間を行き来するマルチステージになると言われるが、その実現に向けて乗り越えるべき課題は何か、マルチステージを生き抜く課題は何か。

#### (人生いつでも新しいことにチャレンジできる環境)

誰もが望む生き方を実現させていくために、どのようにして知識や経験を身につけていくのか。また、東京が人を惹きつける理由の一つとして、充実した学びの環境や、知的な刺激の豊富さが挙げられるが、MOOCなどの遠隔教育の活用のほか、各地域が更に積極的な魅力を発揮できる学びの環境として何が考えられるか。地元大学や企業、地域等はどのような役割を果たせるのか。